

# ばばだぜ! 広島サンダース

久原 大輝

3月に入り、大同生命SVリーグもいよいよ終盤戦。ここまで首位サントリを除く8チームから勝利を挙げる一方で、10位のVC長野以外には黒星も喫している。力は示せているが、安定し切れて



後半戦に入り出番が増えて  
いる柳北悠李選手①  
(2月22日)



## 「継続性」上位進出の鍵

いない。それがサンダースの現在地だろう。

好不調の波がはつきりしているのも特徴だ。自分たちの最大の武器であるブロック&ディフェンスのシステムが機能した試合は、粘り強さと迫力を兼ね備えた好ゲームを展開できる。しかし歯車がわずかに狂うと、リズムを失い主導権を手放す。ハビエル・ウエベル監督が繰り返す「継続性」という言葉は、まさに今のチームに向けられたテーマである。良い時間帯をいかに長く保てるか。それが上位進出への分岐点になる。

7、8日は広島グリーンアリーナで名古屋と、14、15日は広島サンプラザで日鉄堺と対戦。今季最後の広島市4連戦は、5月からのチャンピオンシップ進出を占う極めて重要な舞台だ。互いに一歩も引けない白熱の攻防が予想される。

サンディ(ファンネーム)の大声援は何よりの力となる。支えてくださる全ての方々への感謝を胸に、総力を結集してこの4連戦を戦い抜きたい。

(広島Tマネジャー)